

施策の内容について（素案）

環境重視の森林づくり	森林整備 [5億円程度]	<p><u>強度間伐による針広混交林への転換（新規）</u> 手入れされていない森林を水源かん養などの公益的機能が高度に発揮される森林にするため、強度間伐（通常2割程度を5割に）し、針広混交林に転換する。森林所有者とは伐採制限等の協定を結び整備する。（対象600ha、事業費3億円程度）</p> <p><u>地域住民やNPOなど地域力を活かした取組みの公募、支援（拡充）（いわてらしさ）</u> 上下流連携による森林整備、開かれた里山の整備、野生生物の生息地の整備など、地域住民やNPO等の地域力を活かした取組みを公募し、支援する。（対象200ha、事業費8千万円程度）</p> <p><u>林内環境の健全化（拡充）</u> 林内相対照度（30%）を確保し、林内の下層植生を豊かにするため、スギ林の枝打ちを実施する。（対象1,000ha、事業費1億2千万円程度）</p>
森林との共生	人材育成 [1千4百万円程度]	<p><u>森林所有者への啓発（新規）</u> 森林所有者に対し、森林整備の必要性について啓発活動を行う。（事業費1千万円程度）</p> <p><u>多様な担い手の育成（新規）</u> 県民の森林整備への参加を促進するため、ボランティア、NPOなどを対象とした育林技術等の研修機会を提供する。（事業費4百万円程度）</p>
森林との共生	県民理解の醸成 [7千5百万円程度]	<p><u>いわての森林づくりの普及・啓発（拡充）</u> 環境保全を基軸とした新たな森林づくりの意義・必要性について県民に対し、普及・啓発を行う。また、森林教室等の森林環境学習を支援する。（事業費4百万円程度）</p> <p><u>学校林整備を通じた理解醸成（新規）</u> 学校林の整備を通じて、次代を担う子供たちの森林・林業への理解を促進する。（対象150ha、事業費4千5百万円程度）</p> <p><u>森林とのふれあいの促進（新規）</u> 県民が森林を身近に親しめるよう、森林公園のユニバーサルデザイン化などの改築を行う。（事業費2千万円程度）</p>
森林との共生	循環型社会形成のための地域材利用 [1億2千万円程度]	<p><u>地域材による学童用机・椅子の導入支援（拡充）</u> 地元で製材・加工した地域材による学童用机・椅子の導入に対し支援する。また、伐採・加工見学、伐採跡地の植林等の森林環境学習と連動して実施する。（事業費1億円程度）</p> <p><u>木質バイオマスの利用促進（新規）（いわてらしさ）</u> 県民の木質バイオマスの利用促進のため、木質ペレットの円滑な供給のための支援を行う。（事業費2千万円程度）</p>
	計	7億9百万円程度

新規：既存の制度では対応できかねる施策

拡充：既存制度はあるが、さらに手法、対象、実施主体、事業費等を充実させる施策

いわてらしさ：岩手の強み（自然、技術、地域特性）を活かした施策

事業内容及び金額については、今後、県民の意見を踏まえ検討のうえ決定する。